

「仮想通貨」580億円流出事件



1月26日、「仮想通貨」大手交換業者コインチェックから、不正アクセスにより約580億円に相当する「仮想通貨」の「NEM」が流出しました。過去最大の不正流出といわれる事件の背景と「仮想通貨」について街の青年と考えます。

さらなる法整備を

規制緩い「仮想通貨」

流出事件を起こしたコインチェックは金融庁の登録を受けていない「みなし業者」でした。2017年4月に資金決済法が改正され、「仮想通貨」交換業者は金融庁の登録を義務付けられました。しかし、法施行前から営業していた業者は、登録申請すれば「みなし業者」として営業を認められる経過措置がありました。

「仮想通貨」は、世間には「仮想通貨」は、通貨として発展するの先に、資産や金融商品としての位置付けが高まっており、投機の色が強い性格となっています。投資経験者の半数を20、30代が占めるという調査結果もあります。「仮想通貨」には適用されていません。

金融庁の規制の緩さによって、コインチェックはセキュリティの不備を改善せず、連日テレビコマースで宣伝をくり返し、顧客獲得に猛進しました。いまだ事件の犯人の特定には至っていません。街頭で取材に応じた男性(26、会社員)は「流出事件をテレビで見ただけで、リスクが大きいからやりたくない」と話します。

「仮想通貨」は、世間には「仮想通貨」は、通貨として発展するの先に、資産や金融商品としての位置付けが高まっており、投機の色が強い性格となっています。投資経験者の半数を20、30代が占めるという調査結果もあります。「仮想通貨」には適用されていません。

もうけが目的に

「仮想通貨」が誕生したのは09年で、「ビットコイン」が最初でした。「仮想通貨」の種類は現在1500種類以上あり、増え続けています。

2017年12月、「ビットコイン」の時価総額は34.6兆円を記録しました。前年の同月1.3兆円から26倍の値段へ跳ね上がりました。激しい値上がりから起きた背景にはさまざまな要因がありますが、根本的には世界的なマネー余りがあります。国内の上位富裕層50人の資産は13年の10.8兆円から17年は16.9兆円に増えていきます。富裕層や投資家などが、ため込んだお金の一部を新たな投資先として「仮想通貨」に流し込んでいます。

早急な法整備を

「仮想通貨」は、円やドルなど本来の通貨と大きく違います。実体がなく、インターネット上でしか存在しないことです。取引記録を暗号化する技術を使い、管理されています。匿名性を確保し、二七金を防ぐしくみです。また、発行した通貨の交換に責任を持つ者(発行者)がいないことも特徴です。紙幣(日本銀行券)は、中央銀行が古札を新札に換える責任を負っています。紙幣は政府が通貨として決め、法律によって受け取りを拒否できないと定められています。紙幣を発行するだけでなく、時々の景気に合わせて流通量を調整し、物価の安定を図る責任もあります。

「仮想通貨」は、世間には「仮想通貨」は、通貨として発展するの先に、資産や金融商品としての位置付けが高まっており、投機の色が強い性格となっています。投資経験者の半数を20、30代が占めるという調査結果もあります。「仮想通貨」には適用されていません。

	本来の通貨(円)	仮想通貨
発行者	日本銀行 発行と流通量を 責任を負う	なし 発行するのみ
実体	紙幣、硬貨	なし 暗号としてインターネット上に存在
価格	変動なし 日本銀行が 日決め流通	変動あり 需要と供給によって決まる

日本共産青年同盟95周年にあたって



民青同盟中央委員長 小山 農

1923年4月5日に日本民主青年同盟の前身である日本共産青年同盟(共青)が創立されてから、95年を迎えました。先輩たちや、民青を支えてきていた多くの方々、95年の歴史を受け継いで活動している全国の全ての同盟員の皆さんに、心からの感謝と敬意を申し上げます。

共青が創立された当時、天皇主権の暗黒政治の下でも、共青の先輩たちはたくさんの青年と結び付き、切実な願いの実現へ力を尽くしました。国民主権と反戦平和の旗を掲げ、侵略戦争に命がけで反対を貫きました。先輩たちの不屈の生き方を支えたのは、青年の苦しみと心を寄せ不正とたたかう勇気と、どんな時でも真実を学び社会発展の科学的な展望をつかむ努力でした。

この姿勢は、いま全国でがんばる民青同盟員にも引き継がれています。命まで奪う長時間労働や異常な高学費を正そうと、励まし合って運動を広げています。「戦争する国づくり」や9条改憲を止め、日本国憲法の精神が生きる新しい政治をつくらうと、草の根から共同の一翼を担っています。科学的社会主義と日本共産党綱領を学び、「社会は変わるし、変えられる」ことをつかんで、たぐさんの青年と力を合わせています。そして、民青同盟員の「倍加」を目指し、仲間を増やそうと奮闘しています。

いま世界も日本も、平和と民主主義を求める流れが現実を動かしています。この歴史の進歩は、「それははむもの」とたたかう人民と青年のたゆまない努力によって勝ち取られたもの」です。新しい歴史をつくるために、民青をいっそう大きくし、たぐさんの青年と力を合わせ、学び成長し、行動していく決意です。一緒にがんばりましょう。